

第6回 上市町地域公共交通活性化協議会 議事概要

1 開催日時

令和3年2月25日（木）13時30分～14時28分

2 開催場所

上市町文化研修センター 3階 大会議室

3 出席者

小竹会長、村井副会長、大野木委員、駒井委員（代理 細川様）、安達委員（代理 松下様）、石橋委員、前澤委員、竹田委員、佐藤委員、坂井委員、清水委員（代理 有賀教頭）、佐竹委員、山下委員、奥井委員、鴻島委員、白砂委員、田中委員（代理 若林様）、中村委員、高慶委員、酒井委員、廣田委員 計22名（兼務 1名）

事務局 碓井企画課長、川口課長代理、成瀬係長、富樫主事
（福祉課 田中主幹、教育委員会事務局 松井係長）

4 欠席者

吉川委員、小竹委員、猪井委員、佐々木委員

5 次第及び協議内容

① 開会

② あいさつ（上市町 小竹会長）

③ 協議及び報告事項

[報告]

- (1) 町営バス利用状況について
- (2) 町営バスの新型車両導入について

[協議]

- (1) 町営バス路線の見直し及び自家用有償運送旅客変更登録申請について
- (2) 新型車両の導入に伴う地鉄車両（相ノ木線）との入れ替えについて
（道路運送法第4条一般旅客自動車運送事業の許可路線の廃止について）
- (3) 予約のりあいバス（白萩線・陽南線）の運用方法の見直しについて
- (4) 上市町地域公共交通網形成計画目標値の見直しについて

[協議結果]

拍手多数により協議が調った。

<主な意見>

〔報告（１） 町営バス利用状況について〕

（委員） 陽南線の利用状況や一定の基準について、需要と供給のバランスはどうか？まったく乗らない時間帯や曜日に走らせているという可能性はないか？廃止となった場合でも特定の事情がある場合は運行するといったことも検討できるのではないかと思う。

〔報告（２） 町営バスの新型車両導入について〕

（委員） 新型車両は、コロナウイルス感染症対策も施すようであるが、既存車両の対策などに関して、国の第三次補正予算で活用できるメニューがあれば活用してもらいたい。

〔協議（１） 町営バス路線の見直し及び自家用有償運送旅客変更登録申請について〕

（委員） 停留所の設置について、（全国的に横断歩道付近のバス停における乗降直前・直後の事故など交差点付近のバス停は危険であるとのことから）簡易なバス停であっても、交差点から5m以内にはバス停を設置することができないこととなっている。バス停設置場所について、上市警察署とよく相談してほしい。

〔協議（４） 町営バス路線の見直し及び自家用有償運送旅客変更登録申請について〕

（委員） 目標値の見直しに関しては、改正法への対応や上位計画との連動など理にかなっているものであると考え。但し、公共交通網形成計画の修正に関しては、パブリックコメントの実施やその後の関係省庁への送付などの事務手続きがあるので、そのことについて、抜かりなく対応してもらいたい。

〔自由乗降について〕

（委員） 町営バスの自由乗降についてだが、タクシー利用者から、「町営バスの柿沢・大岩線を利用した際に自由乗降ができなかった（思ったところで降ろしてもらえなかった。）」とのことであった。利用者のことを考えると、どこでどう伝えれば（降車ボタンを押せば）降りることができるか迷うこともあるのではないか？

提案だが、車内などで、【バス停以外で降りたい場合はバス乗車時に運転手に申し出てください】などとルールを定めて掲示してはどうかと思う。

→（事務局）

確かに、そのような状況も推察できる。運行委託している事業者の運転手とも相談して、どのような方法がいいのか検討してみたい。また、町では広報やケーブルテレビを使って自由乗降について周知を図っており、今後も定期的に情報発信していきたい。

6 今後の予定

事務局より、6月ごろに本協議会を開催し、上市町地域公共交通網形成計画の取り組み状況報告及び地域公共交通確保維持改善計画について協議会の開催を予定している旨の連絡があった。

7 閉会